

生ごみで菌ちゃん野菜を
つくろう！



キエーロの使い方



ベランダ de キエーロ



ミニキエーロ

土に入れるだけで”生ごみ”が消えるよ

佐伯市市民生活部 清掃課

キエーロって何？

「キエーロ」とは、毎日出る生ごみをなんとかおうちで処理できないものかと、神奈川県葉山町にお住まいの松本さんが考案したものです。

そのしくみは、土に生ごみを埋めるだけ！！！！

太陽と風の力を借りて、土の中に自然に存在する微生物が生ごみを水や二酸化炭素に分解する、というシンプルなものです。

適切に使用すれば、臭いや虫も発生せず、土に埋めるだけなので、電気や燃料等を使わずに、自然の力だけで生ごみを分解することができます。

夏は3～5日程度、冬は2週間程度で分解されます。

生ごみを分解した土は、たい肥として利用することができます。

***** 準備するもの *****

必要なものは、次の3つ

① 土

庭や畑、古いプランターの土などでOK

(石があると混ぜにくいので、ふるいにかけ除くと良いです。)

購入する場合は、黒土 18ℓの袋で3～4袋程度 (1袋400～500円)

※ 腐葉土は、隙間が多く、虫や臭いが発生しやすくなる。

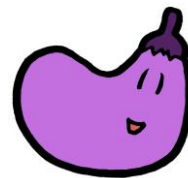
※ 砂、粘土、真砂土は、微生物がすみづらいため不可。



② 生ごみ保管容器

フタつきのもの。古い鍋などでOK。

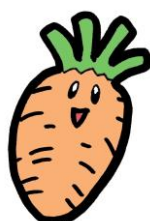
台所で出た生ごみは、水切り不要です！



③ スコップ

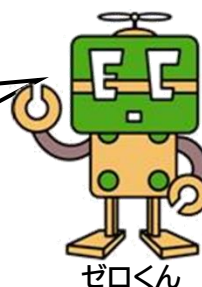
土を掘って、土の中で刻む作業がしやすいものが良い。

鉄製など、硬くてある程度重量のあるしっかりしたものがgood！



【準備と使い方】

使う前に読んでね



●下準備

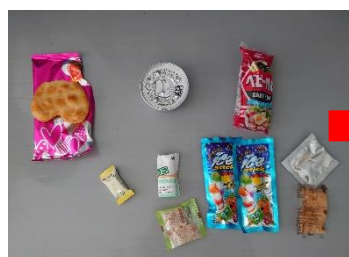
- … ①キエー口を設置する
※できるだけ日当たりと風通しの良い場所に設置
- ②用意した土をキエー口に入れる
※ミニキエー口なら約 40～50L、ベランダ de キエー口なら約 70～100L の土を準備する
- ③土の水分量を確認する。下記を参考に少なすぎたら水を足す。
多すぎたら、日当たりのいい場所で数日乾かす。
<水分量の目安> 片手で土をギュッと握ったあと
 - … 固まらずにサラサラ崩れる = 少なすぎ
 - … 一瞬固まった後、ポロポロ崩れる = 丁度いい
 - … 固まったまま崩れない = 多すぎ

準備完了

●生ごみの処理

- … ①生ごみを準備する
※生ごみ＝野菜の皮やへた、古くなった揚げ油、賞味期限切れの調味料など
- ②土に深さ約 30 cmの穴を掘り、生ごみを投入する
※水分が少ない時は水(500mL～1L)と一緒に投入する
- ③生ごみと土の見分けがつかなくなるくらいスコップ等でよく混ぜる
※生ごみが大きいままだと分解しにくいので、なるべく小さくなるようにたくさん混ぜる
- ④表面を乾いた土で完全に覆う
※表面に生ごみが出ていると、いやな臭いや虫が発生するので要注意
- ⑤次の生ごみを投入する際は場所をずらし、①～④と同じ手順を繰り返す

虫が発生しない
ポイント！



・生ごみや、賞味期限切れのお菓子や缶詰など



・穴を掘り、生ごみや水を入れる



・土とよく混ぜる

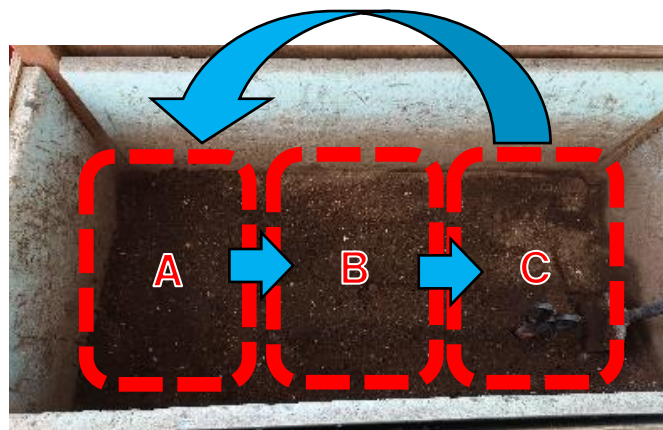


・土で表面を覆う

【生ごみを入れる際の注意点】

- 入れる場所は少しずつずらしていく

※Aの場所に生ごみを入れたら、次に生ごみを入れる時はBに、その次はCという具合に入れていき、再びAに戻る(土や生ごみの量によって、埋める場所を4か所や6か所にしてもOK)。



- 1度に大量に入れすぎない

生ごみを入れる量は1回あたり500g程度(三角コーナー1杯分)。入れる量が多すぎると分解するのに時間がかかります。

スコップでザクザクきざんでみよう！

- なるべく小さくする

基本的にどんな生ごみでも分解できますが、大きいもの(キャベツの芯、アボカドの種 など)や固いもの(パイナップルやカボチャの皮 など)はそのまま入れると分解に時間がかかります。土に入れる前にハサミや包丁で刻んだり、金づちなどで砕いたりすると早く分解できます。

※魚・動物の骨、卵の殻、玉ねぎの皮などは小さくしても、分解されず形が残ることが多いです。

【こんな時はどうする？】

- ・なかなか分解しない、分解が遅い

何日も前に入れた生ごみが、分解されずに残っている場合は以下のチェックリストに当てはまる項目がないか確認してみましょう。

- ☐ 土が乾燥している(サラサラした状態)

→水を足し、「片手で土を握ると、固まったあとすぐにポロポロと崩れる状態」になるよう水分を調整しましょう。

- ☐ 土が泥のようにになっている(ベタベタした状態)

→水分が多すぎるので、しばらく生ごみの投入を中止し日当たりのいい場所に置いておきます。表面が乾いてきたら、下の方からスコップ等で土を混ぜ水分が丁度いい状態になったら生ごみの投入を再開します。

- ☐ 土が黒く、アンモニアのようなニオイがする

→生ごみを分解できる量が限界に達しているので、中の土を入れ替えましょう。外に出した土は、1か月ほど熟成させるとたい肥として家庭菜園や園芸に使用できます。

- ☐ 土が冷たい(温度が上がらない)

→揚げ物に使用した食用油、賞味期限の切れたお菓子やジュース、余った納豆やヨーグルトなど、油分や糖분을多く含む飲食物や発酵食品を入れてよく混ぜてあげると温度が上がり、生ごみも分解しやすくなります。

・虫が出てきた

生ごみが土の表面から出ていたり土の水分量が多すぎると、ハエやアブが卵を産み付けウジ虫が出てくることがあります。虫を発見したら以下の方法を試してみましょう。



- 生ごみの投入を一旦中止する

→エサになる生ごみがなくなれば、2～3週間程度でいなくなります。



- キー口全体をビニール袋等で覆う

→キー口をビニール袋等で覆って袋の口をしぼり、日当たりのいい場所に置いておく。1～3日程度で中の虫は死滅する。

その他にわからないことや困ったことがあれば、清掃課庶務係(TEL22-3984)へご連絡ください。

佐伯の地域おこし系 YouTuber ウチダチャンネルの動画でもミニキー口の使い方を紹介していますので、スマートフォンやタブレット端末で是非ご覧ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=H7lGx16by2A>



エコ博士(ひろし)

ミニキー口を使って
佐伯をもっと**エコ**なまちにしよう

【問い合わせ先】

佐伯市 清掃課 庶務係

TEL 0972-22-3984

FAX 0972-23-3640

seisyomu@city.saiki.lg.jp